



ふれあい

この広報は赤い羽根共同募金の助成金で印刷されています。

編集発行

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会
〒044-0121北海道虻田郡京極町字三崎68番地
TEL(0136)42-3681 FAX(0136)41-2031
Eメールアドレス
kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp
ホームページアドレス
<https://www.kyougoku-shakyo.or.jp/>



1/27

除雪ボランティアイベントへのご協力 ありがとうございました



合計... 153名
実施世帯... 17世帯

今年では4年ぶりに福祉センターに集合し開会式をして除雪を行いました。除雪箇所も多くありましたが、町内外からたくさんのボランティアの方にご協力いただき無事に終わることができました。終了後には炊き出しボランティアの方々が作ってくれた温かい豚汁とおにぎりをみんなで食べて、ボランティア同士の交流も活発に行われました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

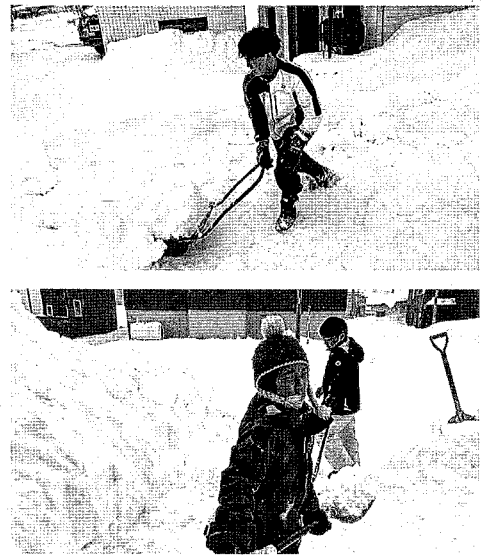


除雪ボランティア活動報告

R6/1/27(土)、除雪ボランティアイベントを実施致しました!今年もたくさんのボランティアさんに支えていただきイベントを開催する事ができました。ご協力いただきましたみなさんには大変感謝致しております。

ここ数年は新型コロナウイルス感染対策として、現地集合・現地解散で除雪ボランティアイベントを実施していましたが、久しぶりに福祉センターに集合いただき、終了後には除雪に協力いただいたボランティアさんみんなで豚汁を食べ、ふれあいの大切さを再認識する事ができました。終了後のアンケートにも「終了後に福祉センター内で温かいものを食べる事」に好意的な意見が多かった為、来年度も同様の形式での実施を検討しております。

これからも地域のみなさんと一緒に地域の福祉課題の解決に取り組んでまいりたいと存じます。今後ともみなさんのお力添えを何卒よろしくお願いします!



1/27 除雪ボランティアイベント参加者

※順不同・敬称略

所属	氏名
一般参加	堅田 光良
	宮内 敬司
	高橋 勝己
	藤田 舞華
	山川タイラー
	後藤田文江
	後藤田峻希
	高谷 武志
	菊地ひとみ
	菊地 隼月
	山岡 龍二
	笹原 耕平
	藤波くらら
	西方 信
	西方 和代
	西方 智
	栗栖 芳子
	村上 政明
	竹ヶ原 強
	大熊 将明
	多田 雅典
	駒田 拓飛
	森田 暁斗
	森田 湊斗
	岡本 政行
	荒関 勝義
	瀧上 重勝
	菅原 良一
村上 敦	
中村 厚子	
大野 利明	
丁名塚幸美	
和泉 幸浩	
小林 智明	
佐久間 清	
渡辺 幸隆	
鏑鍋 雄一	

所属	氏名
菊地建設鋳業㈱	大西 慎梧
	馬場 勝司
(有)ライス工業	黄金崎一志
	真野 光紀
慶和園	澁谷 剛
	イマ・ハルマツヤ
	高橋 浩己
羊蹄山ろく消防組合京極支署	有坂 義之
	米田 秀樹
	東本 伸之
	藤波 知也
	子吉 昌仁
	佐藤 智之
	佐藤 亮
	山本 大貴
	石川 浩暉
	小西 豊司
JAようてい 野球部	松浦 昌輝
	塩澤 一朗
	間所 真矢
	四宮 康介
	森井 太一
	池田 魁
	影山 裕利
	菊谷 旭
	中畑 仁治
	高橋 洸太
金澤 祐汰	
笹森 雄大	
京極町役場	佐古岡秀徳
	中村 寿樹
	高橋 俊光
	駒田 香奈
	渡部 勇輝
	星 祐亮
田中 敦司	
菅井 直	

所属	氏名
京極町役場	吉田 賢人
	久保有貴子
	高松 夕也
	山内 隼介
	東倉 志穂
	佐藤 諄太
	遠藤 創徹
	多田 雄亮
	船橋章太郎
	森多 伸明
京極中学校	金子 康幸
	柏谷 祐樹
	高橋 佑騎
	林 尚起
	米田 朝陽
	山田 琉惺
	川本 橙菜
	吉田 芽衣
	高橋 涉
	室井 麗央
野球スポーツ少年団	半田 元気
	吉田 愛翔
	小野寺 毅
	高木 実梨
	工藤 柊悟
	山内 紬人
	秋山 心花
	秋山 知久
	東條 岳央
	東條 大輔
杉浦らいいん	
行天 敏和	
行天 亮太	
行天 滝子	
鍵谷 結人	
鍵谷 翼	
鍵谷 燈希	

所属	氏名
野球スポーツ少年団	樋口 雄太
	樋口 稜介
	樋口 理恵
	東 薫平
	東 智子
	大道 創助
	千葉 創太
	千葉 兼司
	津毛 天晴
	津毛 由季
	田村 優晴
	藤本 蒼生
	藤本 篤
	高見 陽信
高見奈巳恵	
大廣 朔馬	
大廣 好美	
大廣 純	
大廣 瑚桜	
商工会女性部	赤間真知子
女性の会	小浦方ひとみ
	清水 祥子
	秋山 佑子
	加賀谷多美子
	矢戸 礼子
	永田 澄子
	榎本美智子
	原田 圭子
田中 和子	
ヘルパーSUNの会	鳥谷部寿美恵
	山内志津子
	古屋 清子
	板橋 京子
	鈴木美江子
笹原 真奈	
四宮美智子	

京極町生活サポートセンター

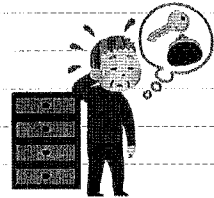
— 知っていますか? 「成年後見制度」 —

認知症や精神障がい、知的障がいにより判断能力が低下し、ご自身ではお金の管理や様々な契約・手続きをすることが難しい方のお手伝いをする制度です。裁判所から選任された成年後見人がサポートします。

京極町社会福祉協議会では、法人として成年後見人の受任をしています。

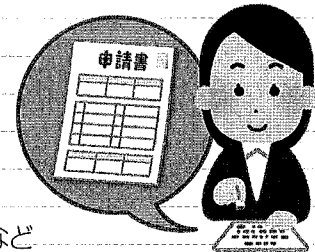
【成年後見制度についての相談例】

- ・ 認知症の父が通帳や印鑑をよく失くすようになっていてお金の管理が心配
- ・ 認知症の親の代わりに銀行の手続きをしようとしたら、本人でないとお金をおろすことができないと言われた。
- ・ 病気で入院が必要になったけれど、身寄りはいないし自分で手続きするのも難しい…
- ・ 亡くなった親の名義の土地を売りたいけれど、知的障がいがあり、難しい手続きができない。



【成年後見制度でできること】

- ・ 成年後見人等が代理人として銀行の手続きや引出し、振込み
- ・ 施設への入所や病院への入退院手続き
- ・ 代理人として、遺産分割協議などの相続手続き
- ・ 不動産の売買契約に関する手続き
- ・ 本人にとって不利益な契約を結んだ場合の契約の取り消し など

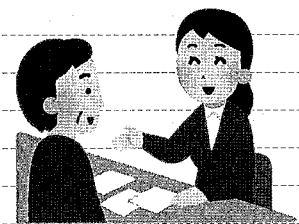


京極町在住の方、町外に住むご家族・ご親戚、お知り合いでご心配がありましたら、ご相談をお受けしていますので下記までご連絡ください。

○成年後見制度に似た事業もあります。

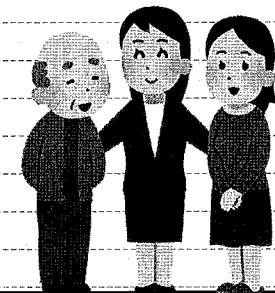
日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)とは

高齢や障がい(知的障がい、精神障がい)により日常生活の判断能力に不安があり、在宅で生活している方または在宅で生活する予定の方に、福祉サービスの利用手続きや生活費の管理、年金証書などの大切な書類の預かりなどのお手伝いをしています。



【対象の方】

高齢や障がいにより、福祉サービスの利用手続きに不安のある方、生活費の管理が一人では難しいと思う方などです。主に認知症の症状のある(物忘れを含む)高齢者、知的障がいや精神障がいをお持ちの方を対象としていますが、医師による認知症の診断や、療育手帳および精神障害者保健福祉手帳の有無にかかわらず利用できます。



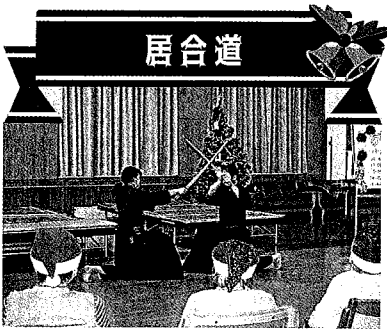
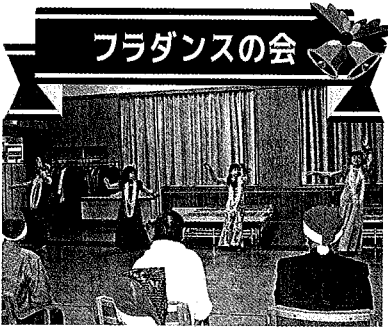
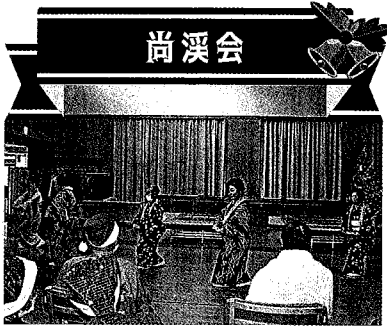
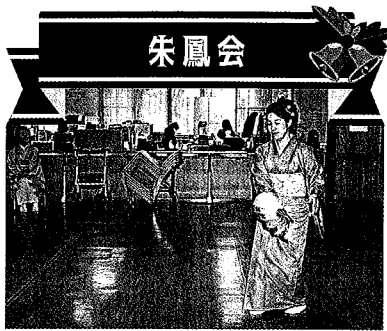
お問合せ

京極町社会福祉協議会 生活サポートセンター
TEL 0136-42-3681 担当：後藤健太 中村柚乃

デイサービスだより

令和5年12月7日(木) 11日(月) 15日(金) クリスマス会を開催しました。

町内から、尚溪会(日本舞踊)・朱鳳会(日本舞踊)・フラダンスの会(フラダンス)・居合道(居合)。町外から、たんと会(三味線)・サンタの会(歌・ピアノ・ギター等)の6団体のボランティアの方々が参加され、歌や踊り等を披露してくださいました。利用者の方々は大変喜んでおり大盛況でした。



寄付・寄贈に感謝いたします

【期間】9月～12月

【寄 付】「福祉基金へ」

- 京極町商工会女性部 部長 赤間 眞知子様より、社会福祉事業資金の一部として
- 四宮 幸一様より、父の故 四宮 孝様の生前のお礼として
- 大場 晋様より、母の故 大場 美智子様の生前のお礼として
- 多田 雅典様より、ハロウィンパーティーのお菓子等の購入資金として
- 小田 史朗様より、息子の故 小田 凌伍様の生前のお礼として
- 大井 貞一様より、息子の故 大井 彰様の生前のお礼として
- ようてい法律事務所弁護士 渡邊 恵介様より、京極町の福祉のために

【寄 贈】

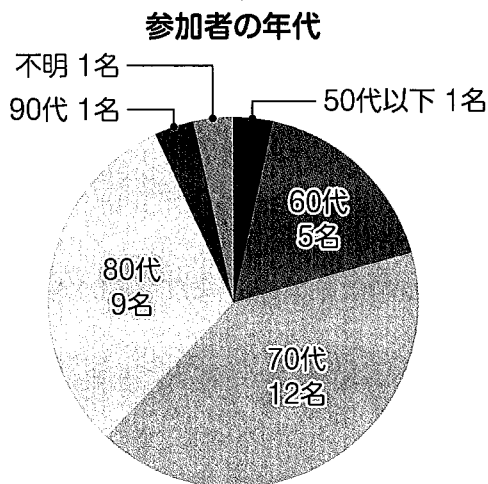
- (有)京極石油様
- (株)パイオニアフーズ様
- 橋本 有紀様
- 北海道コカ・コーラリテール&ベンディング(株) セールス統括本部 道南営業部 小樽営業課様

地域支援介護予防センター

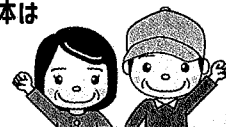
介護支援ボランティアのつどいが開催されました

2月8日に実施し、参加者は30名でした。昨年度まではつどいの場サポーター会として実施していましたが、今年度から介護支援ボランティア全員(全50名)を対象にしました。ボランティアに関する講話では災害ボランティアの話題などもあり、皆さん真剣な表情で話を聞いていました。その後、5グループに分かれて自分の活動についての紹介や自慢、今後の抱負などについて共有しました。すべてのグループで話が盛り上がり、予定時間を過ぎて話も止まりませんでした。

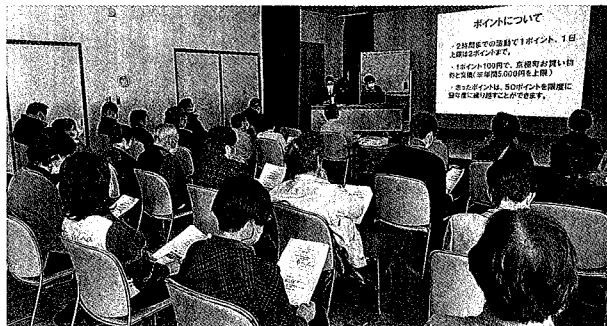
終了後のアンケートから、ボランティア活動をしてよかったこととして「元気がもらえる」69%、「健康につながっている」62%、「役に立った実感がある」41%等の回答があり、自分自身のためにボランティア活動を実施している様子うかがえました。また、今後の活動意欲が「向上した」と回答した方が72%となり、今回のつどいで気持ちも新たに今後の活動も頑張るぞと思って下さった方が多く、地域支援介護予防センターとしても心強いと感じました。



京極町には高齢になってもボランティア活動をしている方が沢山います!『体は動かなくなったけど歌なら歌える』という方もいらっしゃいます



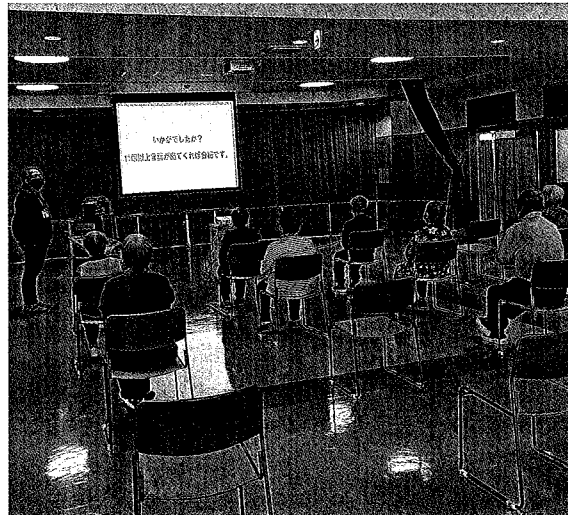
ボランティア



つどいの場「よろこび」再開



慶和園で実施しているつどいの場「よろこび」が1年半ぶりに再開しました!!コロナの影響で施設内に一般の方が入ることが難しかったのですが、今後は老若男女問わず南京極地区の皆さんに参加してほしいとのことです!小さなお子様連れの方もOK(入所者の皆さんが喜ぶそうです)。広いホールで運動していますので、お気軽にのぞいてみて下さいね!

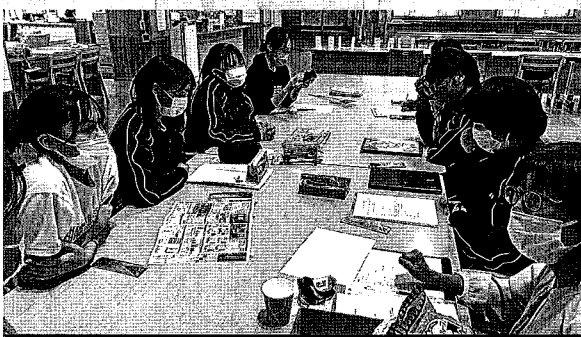


チル カフェ

「chill café」
(認知症カフェ)
を南催しました



中学生の認知症サポーターや認知症カフェボランティア・カフェの参加者の方と一緒にほかほかまつりで「chill.café」を開催しました。中学校の先生方の協力をいただいて、当日までに企画会議を4回行い、中学生サポーターを中心にメニューや会場づくりなどを打合せしています。Chillは「Chillout」の略で「ゆっくりする・リラックスする」という意味があります。さまざまな世代の方と交流しながらカフェを開催できて、楽しい時間でした。



中学3年生の女子5名が参加してくれています



ココアのトッピングやレモネードの試飲中

打合せの様子



カップにロゴのシールを貼っています



始まる前の「エイエイオー！」
気合が入ります

当日の様子



ご注文はいかがですか？



飲み物は完売しました！
ご来店ありがとうございました☆

上手な医療のかかり方

健康な毎日を送るために欠かせない医療。皆さんは「どんな治療を行っていて、何のお薬を飲んでいるのか？」知りたいことを主治医に相談できていますか？

＜診察を受ける時のポイント＞

1. 伝えたい事はメモをして準備

現在の状況(症状、経過、持病、服用中の薬)をメモにまとめて伝えましょう。自覚症状と病歴は大切な情報です。病歴帳やお薬手帳が参考になります。

2. これからの見通しを聞く

インフォームドコンセント(説明と同意)があり、これからどのような治療が行われて、どのくらい時間がかかるかわかると心の安定につながります。また医師との信頼関係が深まります。

3. その後の変化も伝える

4. 大事なことはメモをとって確認

緊張して聞き忘れてしまう場合があります。疑問を放置すると大切なことを見逃してしまいます。納得できるよう質問する努力も必要です。

5. 心配な時は家族が付き添う

物忘れがあると、ご本人だけでは症状を医師につましく説明できていない場合があります。

健康づくり

病気が慢性化すると治りにくく、治療に時間がかかります。日頃から栄養、休養、運動のバランスのとれた生活を送り、健康づくりを心がけましょう。



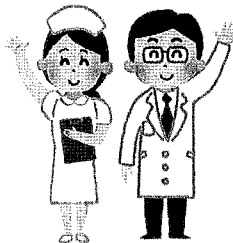
健康管理

ミニドックや定期検診を受けましょう。自覚症状が現れにくい病気も少なくありません。自分の身体の状態を確認しましょう。



かかりつけ医や薬局を持つ

体質や病歴を把握していて、気軽に相談できる身近な医師です。必要時は専門医にご紹介いただけます。



受診に必要なものをまとめておく

健康保険証や高齢受給者証、限度額適用認定証、マイナンバーカード、お薬手帳を決まった場所に保管しましょう。災害時の備えにもなります。



医療機関にある医療相談室を有効に活用しましょう。
お困りごとがございましたら、地域包括支援センターまでご相談ください。
相談専用メール / soudan65@kyougoku-shakyo.or.jp



お問合せ 地域包括支援センター (☎ 0136-55-8615)

超高齢社会に備えて

京極町社会福祉協議会 会長 清水耕策



コロナ禍においてソーシャルディスタンスは物理的距離であったはずが、いつのまにか精神的な距離にもなり、社会的孤立を進めてしまいました。孤独・孤立の問題の原因はコロナ禍ばかりではなく、家族構成の変化があり、「核家族化」から「個人化」が促進され、「一人暮らし」が増え続けています。この問題は国としても担当国務大臣をおいて取り組んでいるようですが、京極町社協としても「鍵預かり・見守り」の事業を大いに展開することが重要になってきました。「孤独・孤立の問題」は、高齢者ばかりではなく、地域全体の課題になってきました。

これまでの介護保険事業が主な財源の事業型社協は、介護報酬の引き下げ、介護サービス利用者の減少などから収支のバランスが悪化しました。そのような中で市町村社協は地域住民の福祉活動やボランティア活動を地域で展開し、地域福祉の推進は社協が中心でした。しかし、超高齢社会を迎え、「地域福祉の“施策化”」が進められ、重層的支援体制整備事業のように市町村が実施主体となり、事業に公費が充当されるようになりました。その結果、市町村社協は地域福祉のまちづくりを市町村から委託事業として展開するようになり、地域福祉施策の進め方が大きく変わってきています。そのような状況から今後、京極町社協としてどのような地域づくりを目指すのか、そのためにどのような事業・活動を実施するのか、どのような組織体制が必要か、が問われています。社協としての方向性を地域の皆さんに分かりやすく示していく必要があります。

超高齢社会において高齢者問題が注目されがちですが、8050問題や少子化の問題など、全世代の課題を考えていかなければ住み心地のよい地域づくりはありません。特に少子化の問題は、昔のように近所の人(じいちゃん、ばあちゃん)が温かい目で子を育てるということへの懐古的感情だけの考えではなく、地域福祉の視点から制度やサービス、住民活動などとして日常的に取り組むことが重要であると考えます。

令和
5年度

赤い羽根
歳末たすけあい

募金結果報告



今年も皆様のご協力に深く感謝申し上げます。それぞれが厳しい経済状況にもかかわらずあたたかいお気持ちを寄せていただきました。寄せられた募金は、一部北海道広域の福祉事業に使われるほかは、京極町の福祉のために大切に使用させていただきます。

赤い羽根共同募金実績

1,238,829円

歳末たすけあい募金実績

1,097,411円

寄せられた募金の使い道とご協力者につきましては、ホームページとSNSにてご報告させていただきます。